



OTONANO GU-WA

友母と

MOTHER OF A FRIEND UNDER THE SAME ROOF

おなじ屋根の下で

成人向漫画



ADULT ONLY

一人暮らしをはじめてから
ひと月が過ぎた

この生活にもやっと慣れてきた
ところだ

俺が一人暮らしになった
きっかけは両親の離婚

もともと既に三年前から俺の
家族は破綻していた
俺としてはやっと離婚したかと
言うのが本音だ

両親が離婚した理由はW不倫
父母共々、他に相手を作ったって訳
離婚後は二人とも相手側と再婚し
新たな生活を始めた

離婚時に最後までもめたのが俺の
親権だった
父母とも、新しい家庭の不和を回避
するため俺は必要とされなかった

要するに俺は父母にとって邪魔
な存在らしい
…まったく、勝手にもほどがある

ならば俺の方から親を
見限り、一人暮らしを決意
今後、親と関わらないことを
条件に金をぶんどつてやった

しかし他人に対し
お節介をかきたがるヤツは
どこにでもいるもんで――

なんて言うか…

肉親のどうどろした愛憎劇を
間近で見た俺は人間不信に陥り

人との関わりから解放されたい
俺は誰も知らないこの町で
ひっそりと暮らししていくつもり
だった

よう、中里
隣いいか？
いつしよに
メシ食おうぜ

……
勝手にすれば

へへへ…
じゃあ遠慮なく



転校早々、ヤツが俺に話しかけてきた

なんだ中里
おまえまた学食の
パンか？
栄養が偏るぞ
親に言って弁当
作ってもらえよ

まあ、ヤツにとつちや話すきつかけ
程度の会話だったろうが

俺の親は離婚して
一緒に暮らして
ねーからな
自分で作るのも
面倒くさいしな
これで十分さ

別にいいよ

あつ…
すまん…

それ以来、ヤツは家族に
関わる会話はしないように
してくれてはいるが…
何かと話しかけてきやがって
正直ウザイ

悪い奴じゃないのは分かるが
ほっといてくれと言いたい

ミイ

ミヤー



家はどこ？
送っていくわ

おせっかいな人だなと思いつつも
せっかくなのでアパートまで送って
もらうことに

ここです
濡れずに
助かりました
ありがとうございます
ございます

へえ

ここで一人暮らし
してるんだ

送ってもらったお礼を伝え
自室へと向かうが
なぜか女性は俺の後をつけてくる

カン

カン

コッ

コッ

あのお…
何かまだ？

ニコ

ニコ

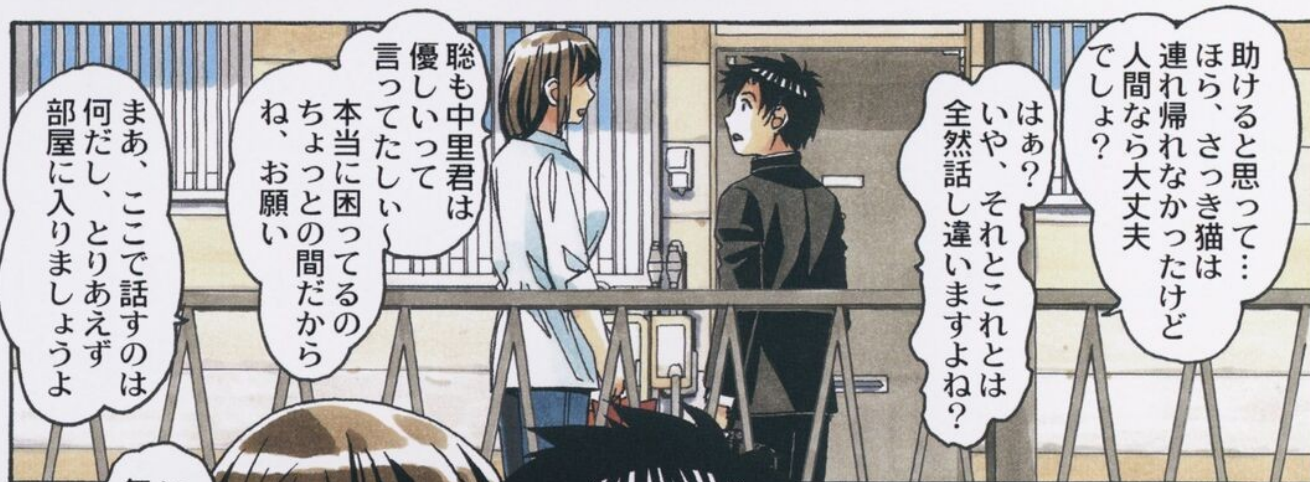
中里洋一君
よね？

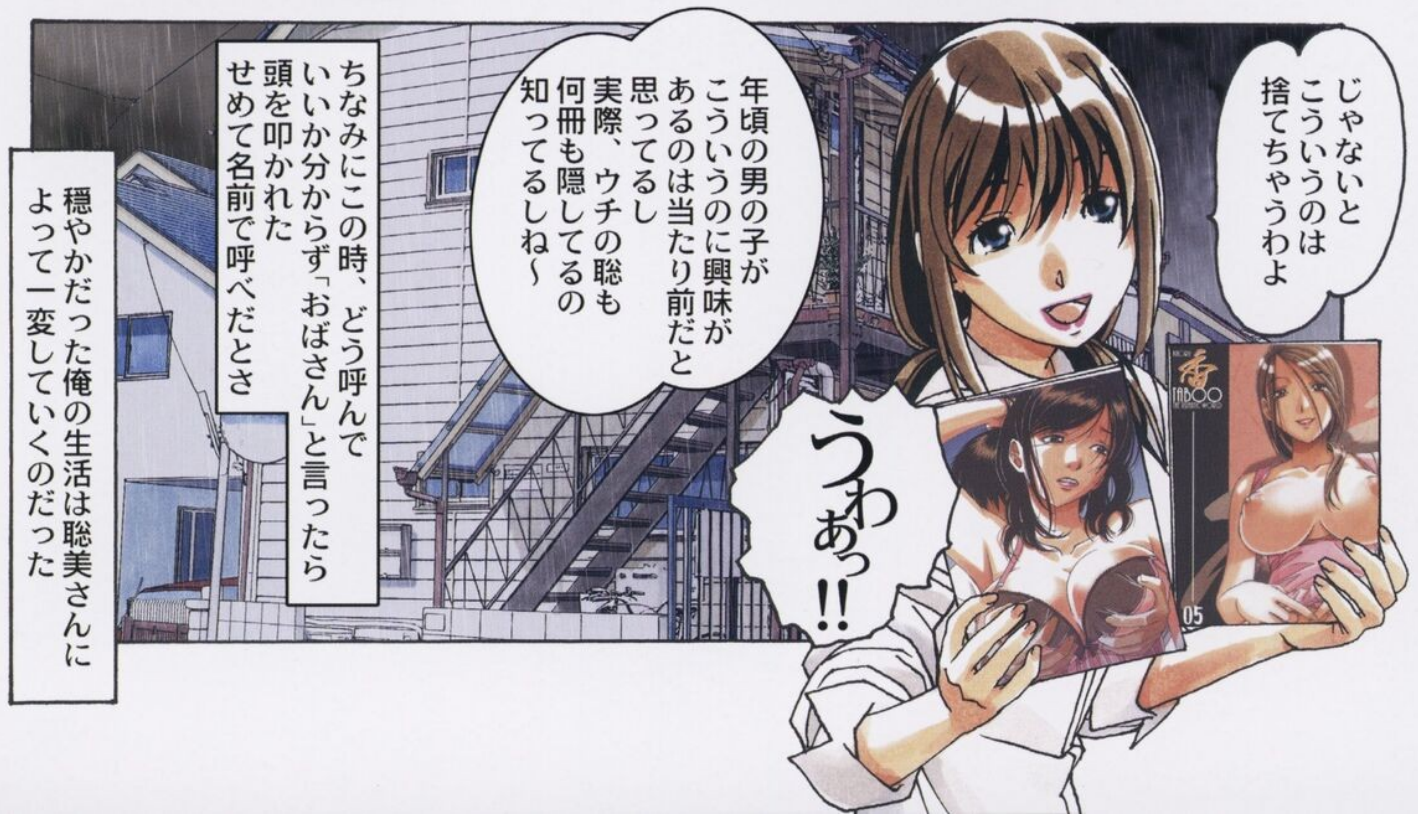
えっ？
そ…そうです
けど…

なんで俺の名前を？
どこかでお会い
してましたっけ？

ウチの息子が
君のことをよく
話すのよ

聡と同じ
クラスでしょ？





数時間後

終了〜♪
お疲れさま

ね、片付くと
気分も良くなるでしょ？

おなか空いたでしょ？
何か作ってあげる

えええっ?!
何コレ？冷蔵庫の中
からっぽじゃない!

はあ……
まったく……
いつもこんな食事
なの？

違いますよ
今日は買い物に
行けなかった
だけで
普段はちゃんと
コンビニ弁当とか
食べてますよ



同じよ
そんな偏食してると
栄養が偏って
いつか身体壊すわよ

まあ
私がいる間は
ちゃんとしたモノ
作るから期待してて
良いわよ

え……?



チルル

最初は冗談かと思っていたが
旦那さんと喧嘩して家出てきたのは
マジらしく、言い負かされる形で
俺は宿泊を許可するハメに……

まあ、明日にはきつと帰るだろう
一日だけならという気軽な思いもあった

こうして怒濤のような一日が終わった



翌朝

聞き慣れない音で目覚めた

トン

トン

トン

トン

ん…

ジャー

ジュー…



あつ、起きた

おはよう、中里君

ちょうど
朝食が
出来た
ところよ

食材が全く
無かったから
コンビニまで
買いに行ってきたの



それと
コレ

お弁当
学校で食べてね
簡単なものしか
出来なくて申し訳ない
んだけど

あ、ありがとうございます…



そして昼休み――

おうち中里
弁当作ってきたのか
珍しいじゃん

え？

いや……まあ……

俺は今日は
購買のパンだ

あはは
いつもと逆だな



あむ

すまん久城……

本当ならこの弁当は
おまえのだった
はずなのに……

うん
偶には購買のパンも
悪くないな



今朝、出かける前に
おまえの母親に言われたんだ
俺としても行きがかりとは
いえ、泊めちまったのは事実
で外間に対する体裁もあるし

あのね中里君
悪いけど聡には
中里君のところに
居ることは内緒に
しておいてくれない
かな？

はあ……

なんで俺が九条ん家の問題に
巻き込まれにやならんのだ……



学校から帰ってくると
当然のように
ハプニングが待っていた

なっ?!

何っ! 格好して
るんスカ!

あつ、おかえり
中里君

持ってきた
着替えまで
濡れちゃって
悪いけど
乾くまで中里君の
服借りたのよ

コレ?
昼間、家に必要なモノを
取りに戻ったんだけど

帰りにいきなり
雨降られちゃって
もー、ビショビショでさ

ゴシ

ゴシ

.....



女ってこんなもんなのか？
正直、どう対処したら
良いのか全くわからん

いや、俺だって男なんだしそんな格好でいられると困るんだけど

ん？

そ、それはかわわないけど、もつとTシャツとかスエットとかもあつたでしょ？

なにか拙いかな？

ゴメン、ゴメンこうジメジメしてると暑くて！もうすぐ乾くからそれまで許してよ



——つてかき、エロいんだよ！

うううん～

ゲゲッ

ヌオオオ？
ブラもしてねえじゃんか
動くたびに大きな
オッパイをプルンプルン
揺らしやがって！

健全な青少年にとっちゃ
限りなく目の毒なんだ
ってばよ！

ぐらん

たゅん

たゅん

中里君って
頭良いんだって？
聡が言ってた
わよ

聡美さんは世話好きなのか
なにかと俺に話しかけてくる

おはよう
いつまで寝てるの
ほら、ぐずぐず
してないで
さっさと起きる
起きる！

よくもまあ、次から次へと
言葉が出てくるもんだ

それは百歩譲ってよしとしよう
一番の問題は別にある

良い匂いがするんだよ
女特有の男を引きつけるような
甘い香りっていうかさ

なるべく意識しないように心がけているが……
どうしても女として意識しちゃう訳で

健全な少年としては悶々とする訳だ

人はひとりじゃ
生きていけない
から

生活し始めて困ったことがある
自由気ままだった生活のリズムが
聡美さんによって矯正されてしまった

関心無くすと
それまでだし

でも相手はクラスメイトの母親
どうするわけにもいかず……

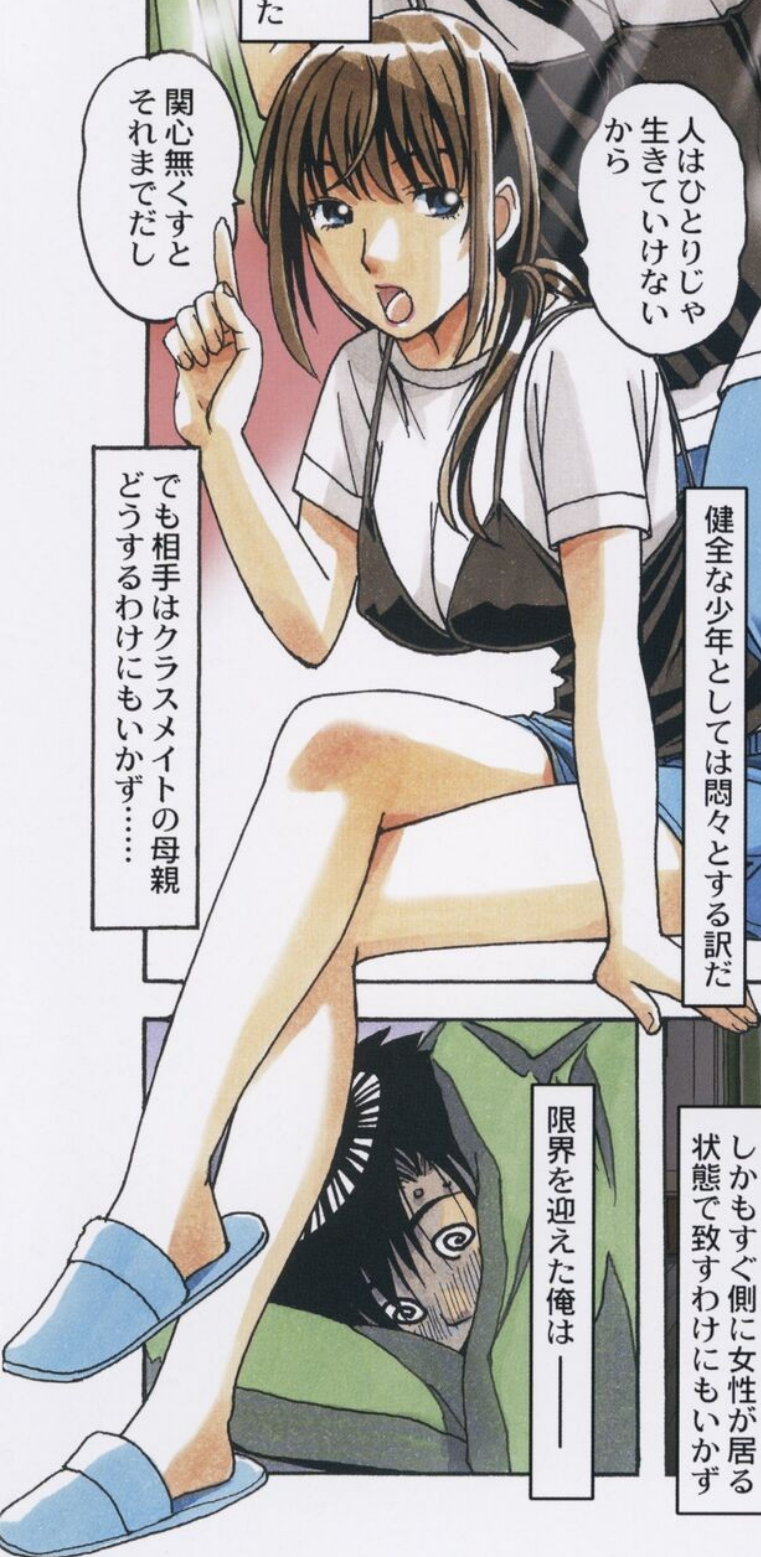
聡美さんが来て三日が経った
そして新たな問題が発生する
それはオナニーが出来ないこと

まさかこんな問題が
起こるとは想定して
いなかった

毎日のようにオナニーにふけていた
俺としては非常に重要な問題だ

狭いワンルームで
しかもすぐ側に女性が居る
状態で致すわけにもいかず

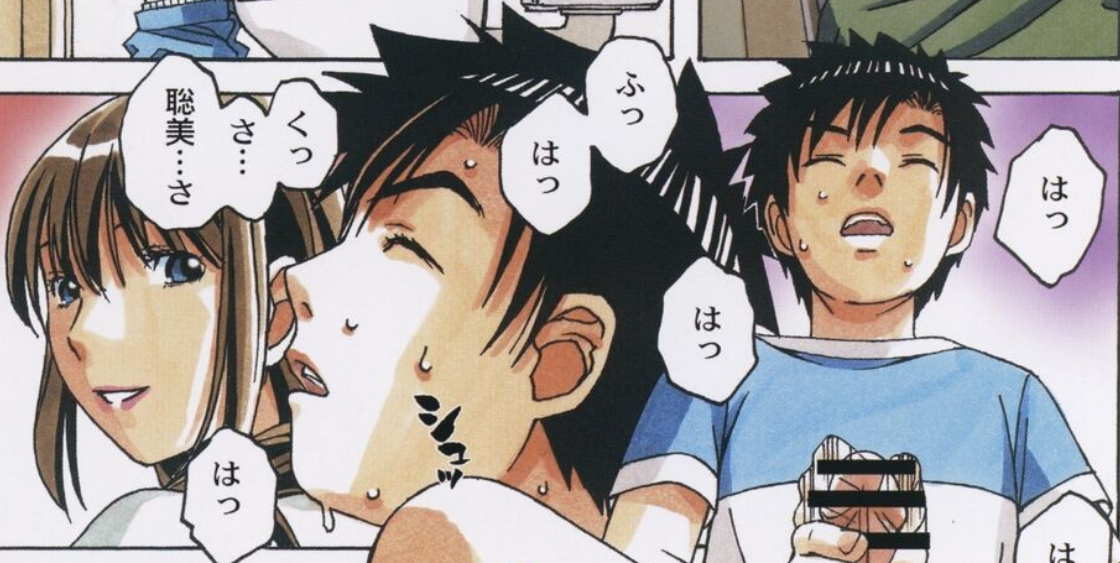
限界を迎えた俺は――



そつと部屋を抜け出して



トイレでオナニーに耽った



聡美…さ

さ…

くっ

はっ

ふっ

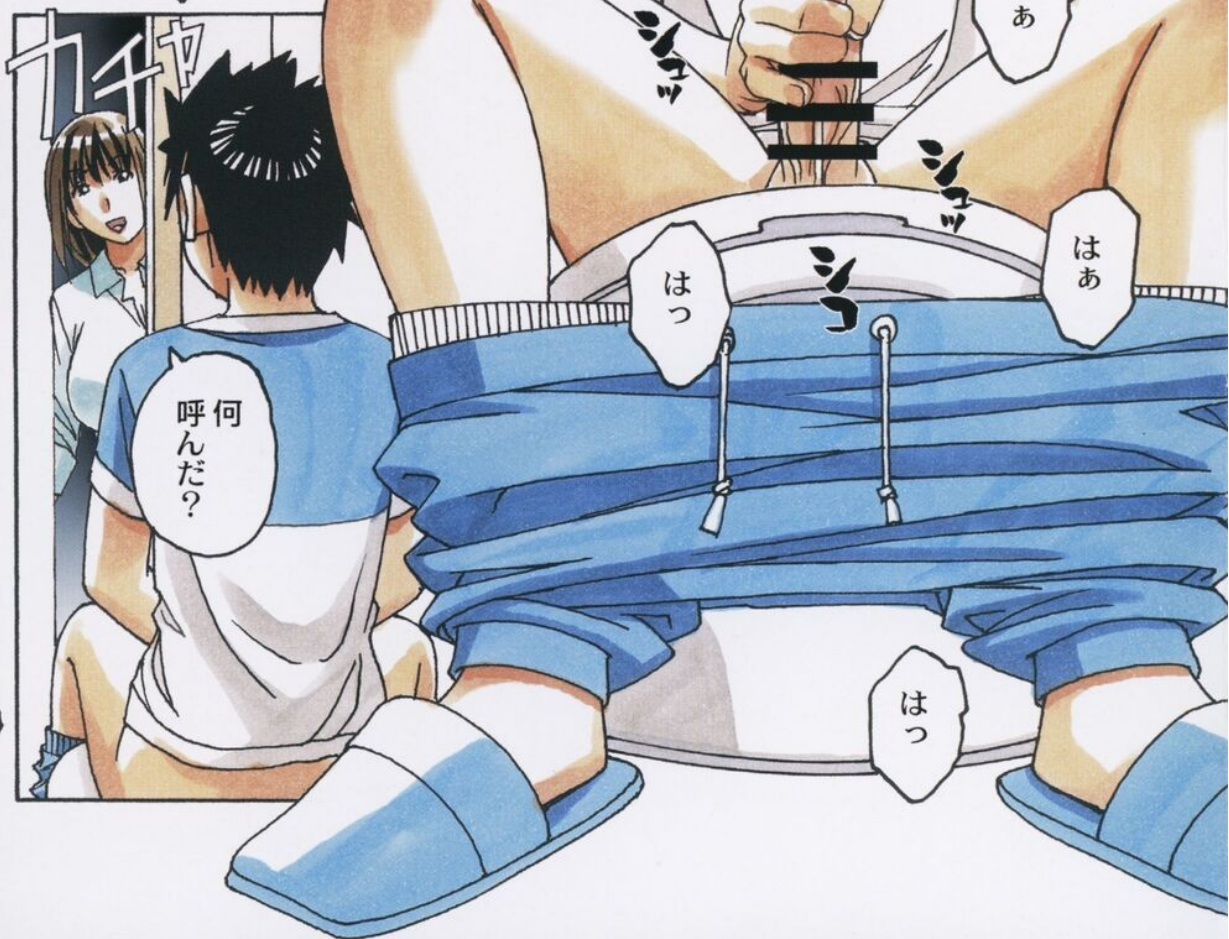
はっ

はっ

はあ

はっ

いつもならAV女優やグラビアアイドルがオナニーのネタにしていたがこの時のズリネタは聡美さんだったのは必然的だと思う



何んだ？
呼んだ？

ギアアアア…



終わった――

もう駄目だ……
本人の目の前で見られて
しまった

どよあ

ゴメン、ゴメン
まさかトイレで
してるとは
思わなくて

大丈夫、大丈夫
私、理解あるし
男の子だもん
しょうがないよ
まあ、開けちゃったのは
悪かったけど
中里君が私の名前呼んだ
せいでもあるけどね

も〜
どうしたら
機嫌直して
くれるのよ

…死にたい

そうだつ！
じゃあさ
私がお手伝いして
あげようか？

さっき最後まで
してないでしょ？
だったら私がして
あげるよ
良い考えだと
思わない？

えっ？

さっき、私のこと
思ってたんでしょ？

いや…
それは…

ちよつと
嬉しかったな
私もまだまだ
すてたもんじゃ
無いって思えたし

ここずっと
夫からも女として
扱って貰えなく
なつたのよ
必要とされるのは
子供の母親という
立場

いや…
さ、聡美さんは
素敵な女性
だと思えます

なにやらよからぬ展開になり焦る俺

でしょ？
だったら
ほら、
脱いで
脱いで

ちよっ
何を…

実は私、若い子の
って見たことなくて
興味あったのよね

わおっ
結構立派じゃ
ない！

うわっ

なんかこう
まじまじ見るこ
と無いから
なんか新鮮

ちゃんと剥けてる
んだ

それにもの凄く
堅いわ
まるで鉄棒が中
に入ってるみたい

さ、聡美
さん…

はっ

拙いです
って…

そんな
されると

あは、
ぬるぬるが
出てきた
いつでもイって
いいからね

はあ

はっ

遠慮しないで
いっぱい射精して
気持ちよくなってる

密着した背中に柔らかな
双球が押しつけられ
細く柔らかな手が俺のモノを
弄ぶ

絶妙な力加減で刺激を
受けた俺はあつという間に

あまりの気持ちよさに耐えかねた
俺は――

はあ

うあっ

あは♪

はっ

あくっ

うぐ

はっ

ちよっ…
まずいですって
射精ちやいま…

だからいいよ
って言うてる
でしょ？

はっ

うわあ…
すごい
溜まったのね
あんなとこまで
飛んでるよ

はあ

はっ

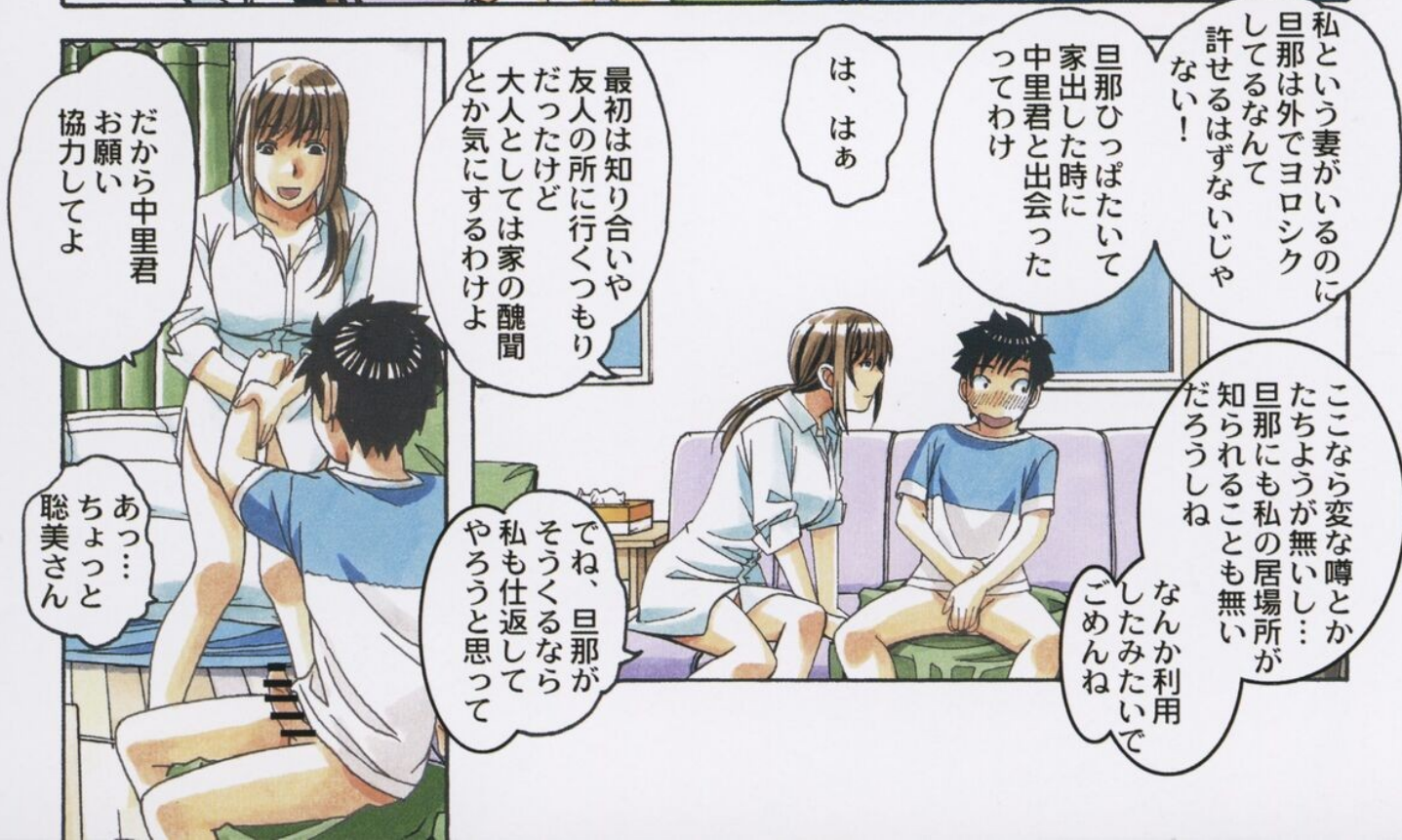
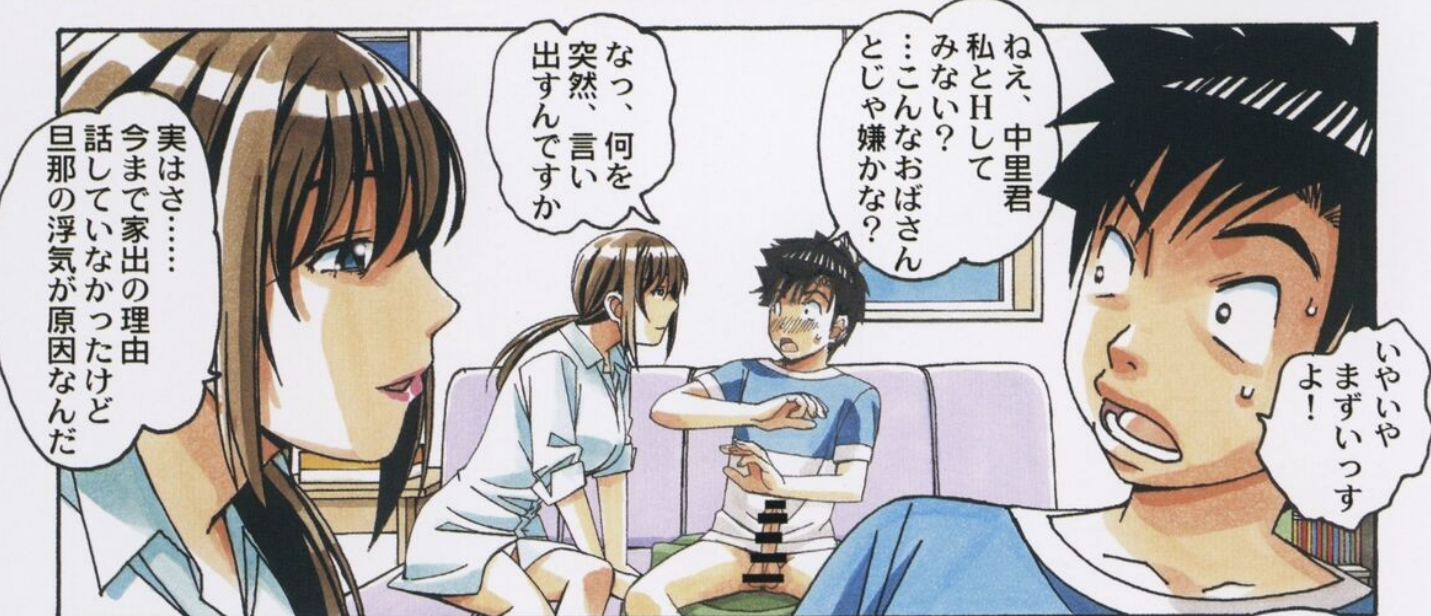
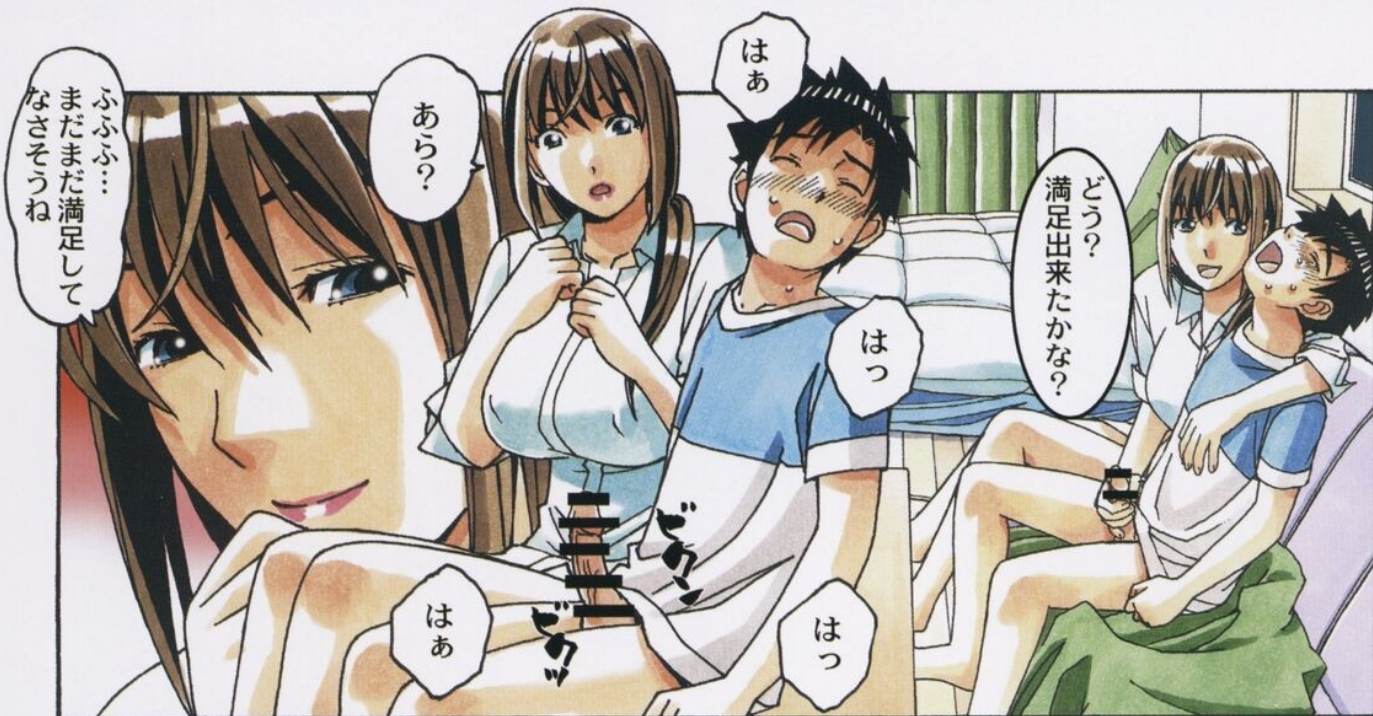
あくっ…

はっ

はあ

いっぱい出たわね
ねえ、ねえ
気持ちよかった？

はあ



うわっ

緊張してる？
身体がこわばって
るわよ？
リラックスしてよ
私まで緊張する
じゃない

まあ、私も経験人数
二人しかないから
上手とはいえないけど
あつ…聡には言わない
でね

中里君て
初めてだよな？

初めてがこんな
おばさんで悪いけど
でもその代わり
若い子には無い
女の良さを教えてあげる

あつ…いや
…はい…

彼女が出来たときの
予行練習だと思って
くれればいいから

ガニッ

中里君も私を
自由にしたいからさ
悪いけど旦那への
あてつけに協力してよ

あ…

聡美さんのでっかいオッパイが目の前に
さらされ、思考が一瞬、停止する

ちよっ?
な、何してる
んすか?

脱がないと
出来ないでしょ

どわっ?!

私だって
まだまだ女として
すてたもんじゃない
んだから…

いやいや
聡美さん
まずいです
って…

しかし、相手はクラスメイトの母親
さすがにヤバイと理性を取り戻すも…



知ってるのよ
中里君、いつも私の
胸に興味津々で
盗み見てだじやない

ヤバイ…全てバレてる
でもしょうがないじゃんか

目のまでおつきな
オッパイが揺れて
るんだぜ

誰だって目がいつちやうのは当たり前
だと思っ

ぐにゅ
むにゅ
すにゅ

ふふふ
この胸にはちよつと
自信があるんだ
垂れないように
クラブで鍛えてたの
なのに旦那は
見向きもしないし

はあ

はっ

ふう

その聡美さんのオッパイを恐る恐る
揉んでみる
柔らかくて弾力のあるオッパイが
俺の手の動きに合わせて変わる

だから今は
中里君だけの
ものだよ

はっ…
くう

ん…

性器同士が触れあつて

それだけで俺は――

駄あゝ目
今、イきそうに
なったでしょ

あっ…

今漏らしたら
勿体ないでしょ？
私も楽しみたいし
どうせなら膣内でね

マジで？——

いつかは可愛い彼女ができて

経験するんだと思っていた

スッ

あ…あの
避妊とかは…

中里君の初めて
貰っちゃうね
なんか私までドキドキ
しちゃう

さあ
どうかしら？
中里君初めてだし
お祝いにね

でも…
もしかしたら

中里君の
赤ちゃんが
出来ちゃう
かもね

ま、拙い
っすよ！

冗談よ
冗談

よく見てね
童貞卒業する瞬間を

ぴと

ぐちゃ

しゅや





はあ

俺の怒張が根元まで挿入されている

中里君はどうかかな？
した感想は？

ドクッ

ドキ

ニギッ

ニギッ

クマッ

ドクッ

ドキ

…は、入って
ます……

はっ

ふふふ…そうだね
繋がっちゃったね

本当に俺のモノが聡美さんの中に入ったのだ

ドクッ

ドクッ

柔々とした膣肉が俺の存在そのものを受け入れてくれる錯覚に包まれた



でも
これで終わり
じゃないの

これから
動くけど
なるべく射精を
我慢してね

ドクッ

ドクッ

そう言うとき聡美さんは腰を振り出した

結して激しくは無いがえもいえぬ快感に包まれる

俺は今にも射精しそうになるのを堪える
もっとこの快感を長く味わいたいと願いながら

うくつ
ぐつ…

あゝはい

はつ

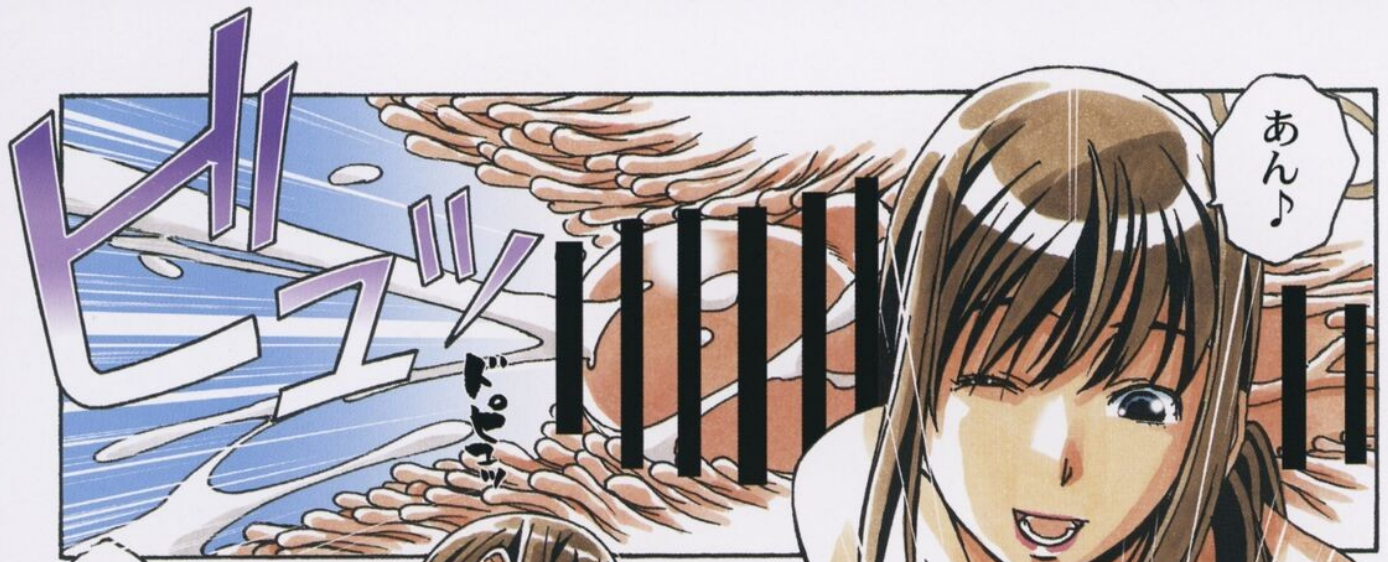
あく

天

三

はぐつ

はつ



あん♪

あふっ

あつ…
中里君のが
いっぱい出てる…



うあ
あああつ!!

射精るっ!



あく…

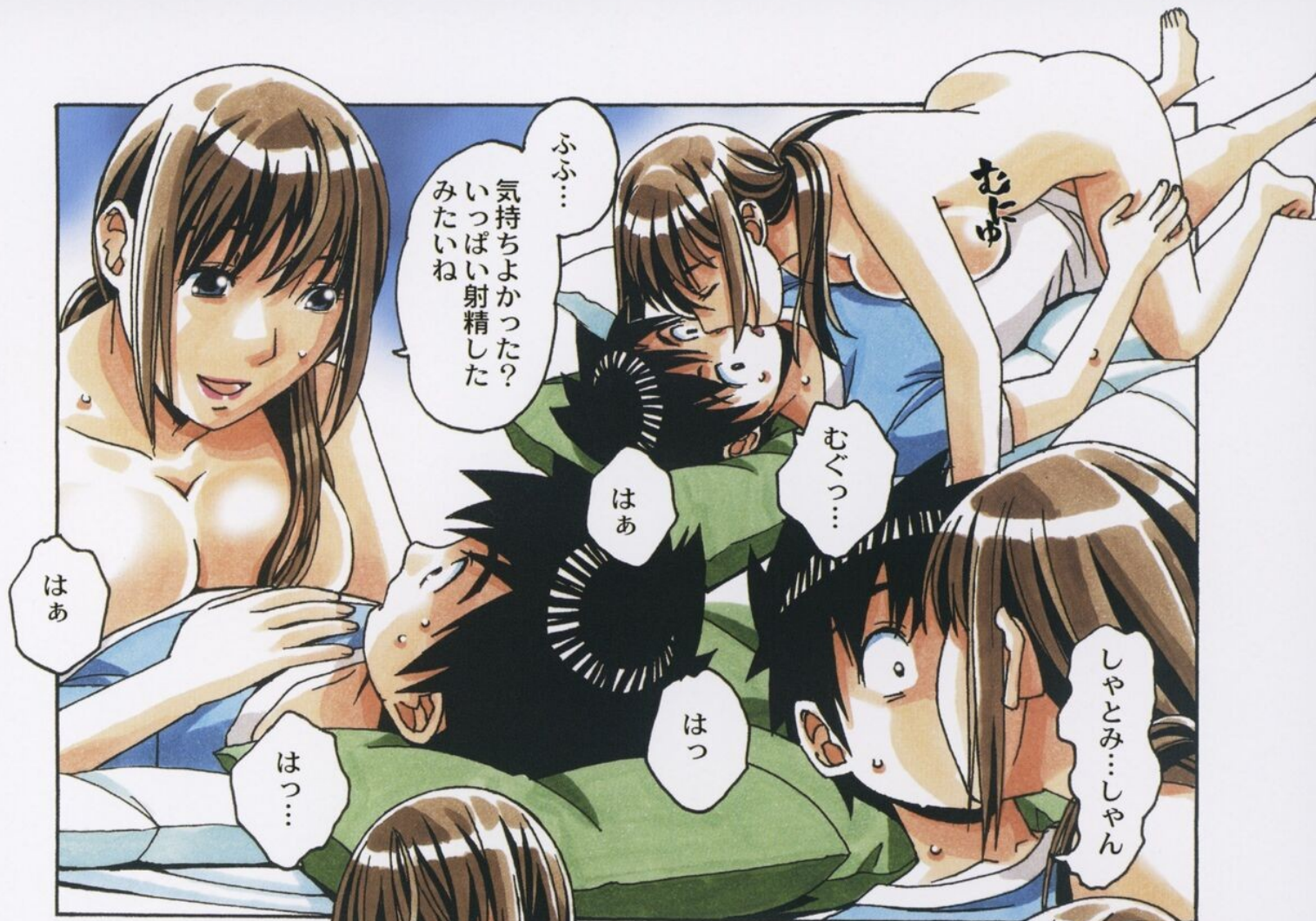
はっ

ぜい

はあ

はっ

しかしその願いも虚しく
俺はあっけなく射精してしまった
——これ以上なく大量に



その後も俺の征服欲は収まらず

聡美さんを何度も求めまくった

そんな俺を聡美さんは優しく迎え入れてくれた

あああつ

中…里くん
凄い…

はあ

はっ

あつ
激し…

ああつ

あくつ

はあ

くぽあ

うきゃ

また
こんなに

はあ、はあ

うっ！

あくつ

ドロ

ドロ

結局、俺は起たなくなるまで聡美さんと
やりまくったのだった



そして関係をもった翌日以降も

こ、コラ！
今は夕飯の
支度してるから

聡美さん

俺…

俺と聡美さんは交わり続けた

あく…
激し…

あうっ

はっ

うぐ

あ…
ああん

ギシ

むにゅ

ん…
まよパ

まよパ

まよル

んっ
んふ

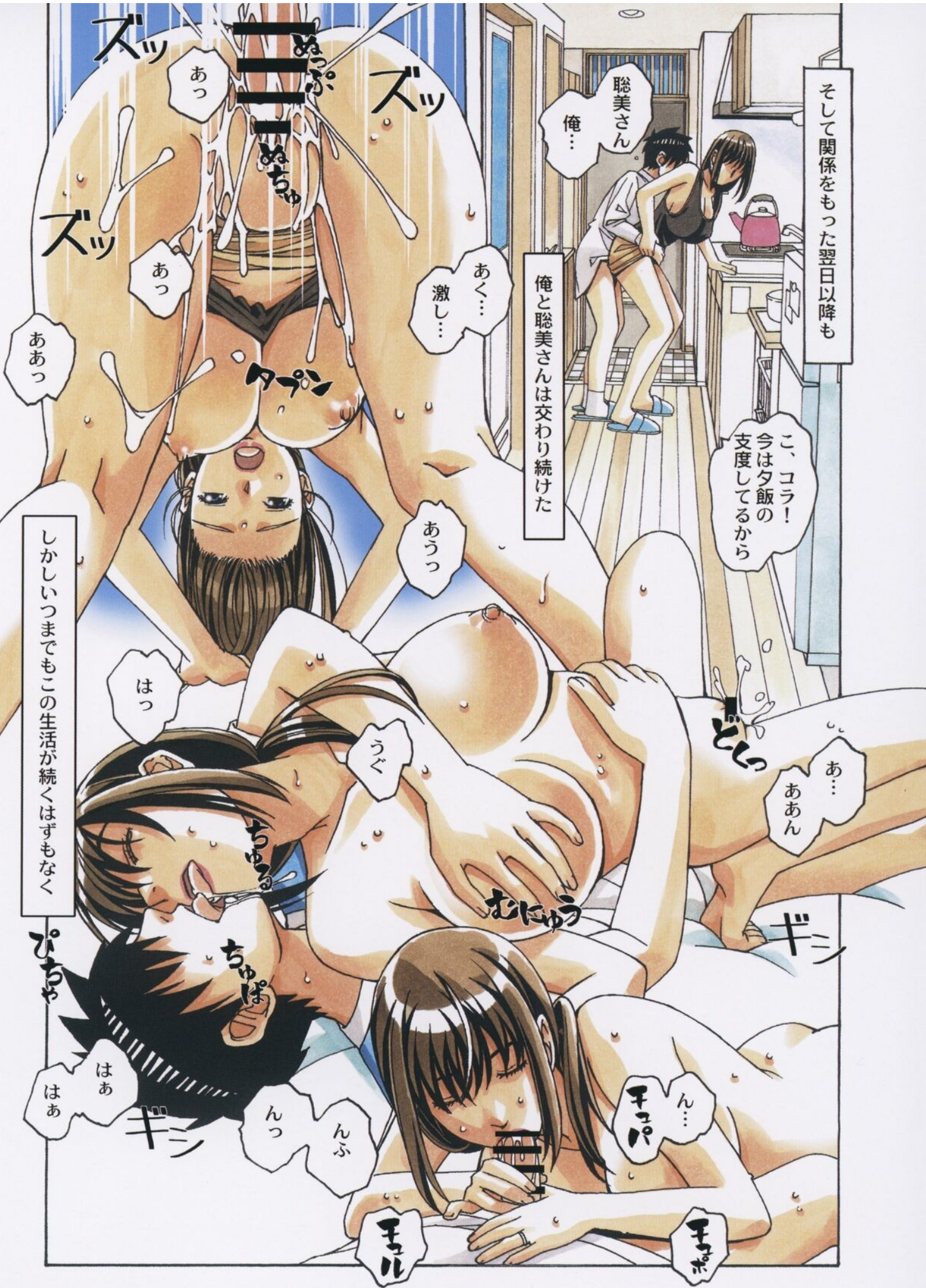
ギシ

はあ
はあ

ちゅぽ

ぴちゅ

しかしいつまでもこの生活が続くはずもなく





元々歪んだ関係だ
いつかはこの生活も終わる
事は分かっていた

中里君
まだ起きてる？



私ね、明日
家に帰ろうと思うの
旦那ともちゃんと
話し合うことに
するわ

結局、私は現実から
避けていたんだと
思う

.....



今回の事は
旦那の浮気が
原因だけど
私も旦那の事を
おさなりにしていた
のかもしれない
だからきちんと
話し合ってみるわ

それに
中里君にとっても
この状況は
良くないと思う
でもね
後悔はしてない

勝手ばかり言って
ごめんね...

これまでのことは
二人だけの秘密...
私も明日になったら
中里君のことは
忘れるから

聡美さんは寂しげに微笑んだ

翌日、帰宅すると聡美さんは居なかった

ガランとした室内

「おかえり」という言葉ももう返ってくることは無い

この空しさは何だろう？

聡美さんが居た日数はわずか十日

聡美さんに「明日、帰るね」と言われた時はまたいつもの生活に戻ただけだと軽く捉えていた

両親の件もあり一人きりは慣れているはずだった

はあ…

…でも、何でかな？
虚無感に苛まれる

聡美さんが戻ることは最初から分かっていたことだ

聡美さんには聡美さんの家庭があるのだから

正直、それを壊して欲しくない

聡美さん、旦那さんと仲直り出来たのかな？

聡美さんには幸せになって欲しいと切に思う

そう言えば、聡美さんが戻った翌日
久城のヤツ、妙にテンション高かったよな

はっはっはっ！
いよお、中里
元気してっか？

相当、嬉しかったんだろうな
俺みたいにならないで良かった
と思うよ……本当に……

一緒に居たときはいつの間にか主導権握られて

うわあ、うぜえと思っていたけど

ほら、
足邪魔！
暇なら少しは
手伝ってよ

はあ……

居なくなってみると

なんか最近、聡美さんのこと
ばかり考えている

いつの間にか聡美さんは
俺の中でこんなにも
大きな存在になっていた
ことに今更気づく

へいへい
今、出ますよ

ポリ

ポリ

聡美さんが帰ってから二週間が過ぎた

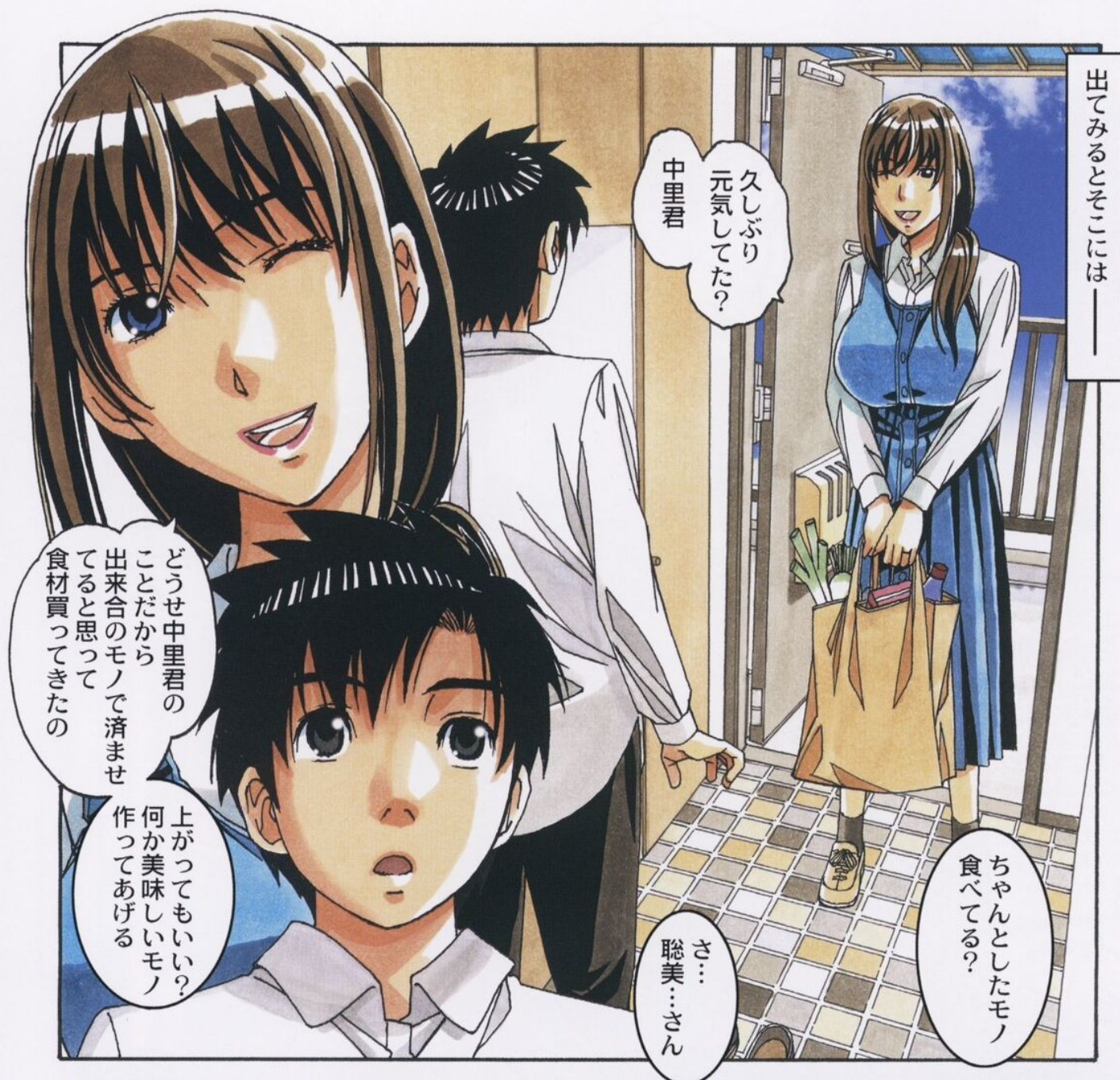
あ……
何もする気が
おきねえ……

いつしか部屋も昔の状態に戻っていた

ピンポ

何だよ
まったく

勧誘や新聞なら
お断り――





Author

山田太郎 (仮名)
(KAMEI) TAROO YAMADA

当サークルの作品をインターネット上に
投稿する行為はしないでください。
過去作品を含め一切許可していません。
当サークルの作品をインターネット上で
見つけた場合、下記アドレスまでご連絡
下さい。

otona@do-wa.net

Doujinshi Circle

OTONANO GU-WA

友母と

UNDER THE SAME ROOF AS MY CHILDHOOD FRIEND

おなじ屋根の下で

1

初版発行日	2021年 9月 30日
編集・発行	大人の寓話
印刷所	株式会社 JC2

© 山田太郎 (仮名) ・ 遼闊 / 大人の寓話

- ★本誌は有料作品です。
内容は成人向けであり18歳未満の購入・購読・閲覧を禁じます。
- ★本作品はフィクションです。
作中に登場する人物・団体名・地名・事件・文化・風習・史実・病等は実在するものとは一切関係ありません。
キャラクターの容姿から想像する性別・年齢等も、全てが架空のものです。
また内容において犯罪行為等を示唆するものではありません。
- ★本誌は著作権法上の保護を受けており発行人の許可無く無断複製・複写・転載・二次使用・ファイル共有・投稿サイトへの無断投稿、及びそのファイルのダウンロードする行為を禁じます。
転売・レンタル・貸与行為も同様に禁じます。
- ★感想や要望など聞かせて頂けると嬉しいです。
[otona@do-wa.net] までお願いします。
イベント参加や販売物のお知らせをブログにて告知しております。

<http://otonanodowa.blog79.fc2.com/>

- ★当サークル発行のバックナンバーは[とらのあな]及び[FANZA同人]にて発売中です。
そちらをご利用下さい。

Warning!!

This book is protected under copyright law.
This is the products which OTONANO GU-WA sells.
Only a buyer can read.
I forbid it to upload it without my permission.
It is strictly prohibited unauthorized copying.



02

OTONANOGU-WA

友母と

MOTHER OF A FRIEND UNDER THE SAME ROOF

おなじ屋根の下で

